

## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年8月6日

上場会社名 株式会社朝日ネット 上場取引所 東  
 コード番号 3834 URL <https://asahi-net.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土方 次郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 小松 大 (TEL) 03-3541-8311  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,777	9.6	406	3.0	460	7.0	301	2.3
2020年3月期第1四半期	2,534	5.6	394	57.6	430	69.3	294	64.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	10.83	—
2020年3月期第1四半期	10.27	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,808	10,098	85.5
2020年3月期	11,094	9,704	87.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 10,098百万円 2020年3月期 9,704百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	9.00	—	9.50	18.50
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	9.50	—	9.50	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	5.2	1,800	12.1	1,800	9.3	1,260	9.5	45.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	32,000,000株	2020年3月期	32,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	4,140,652株	2020年3月期	4,140,627株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	27,859,361株	2020年3月期1Q	28,705,421株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、各国の経済活動が強く制限されるなど、マイナス成長に陥り景気の先行きは不透明な状況であります。

このような状況のなか、当社は通信事業者としてインターネット通信サービスを維持し続けるための行動を継続的に取り組んでおります。在宅勤務などによりインターネット環境を必要とするお客様に応えるための体制維持や、遠隔授業などの学校運営に必要なインターネットサービスの維持と拡大を行っております。

## 業界の動向

ISP（インターネット・サービス・プロバイダ）業界においては2020年3月末のFTTH（光ファイバー）の利用者数は前年同期比142万契約増（4.5%増）の3,309万契約となり一貫して増加しております。

また、FTTHの契約数のうち、NTT東西の卸電気通信役務（サービス卸）を利用して提供される契約数は1,389万となり、サービス卸の契約数比率は前年同期比120万契約増（3.9%増）の64.1%となっております。

MVNOサービスの利用者数は前年同期比315万契約増（14.7%増）の2,465万契約となりました。そのうち高速モバイル通信やIoT（Internet of Things）/M2M（Machine to Machine）に利用されるSIMカード型の契約者数は前年同期比277万契約増（21.3%増）の1,576万契約と順調に増加しております。

インターネットにおけるトラフィックにおいては引き続き増加傾向にあります。昼間帯は在宅勤務等のテレワーク増加や遠隔授業への取り組みなど、従来は対面で行われていた活動の多くがオンラインへ移行する事により通信量が増加しております。夜間帯は利用者が増えている定額動画配信サービスやオンラインゲームなどにより通信量が増加しております。通信量の増加に起因する通信速度の低下、通信品質の悪化などISP業界としてはトラフィック増加への対処と通信品質の維持が引き続き喫緊の課題となっております。

## インターネット接続サービスの状況

(ASAHIネット)

「ASAHIネット」会員数の状況

(単位：千ID)

	2019年6月末	2020年6月末	増減	増減率(%)
FTTH(光接続)	396	417	21	5.2%
ADSL	20	17	△3	△15.6%
モバイル接続	41	45	4	10.5%
その他	156	153	△4	△2.2%
会員数計	614	632	18	3.0%

インターネット接続サービス「ASAHIネット」においては、2020年6月末の会員数が前年同期末比で18千ID増（3.0%増）の632千IDとなりました。

当事業年度第1四半期においては、新型コロナウイルス感染症により屋内でインターネット環境を利活用した新たな生活様式への移行の影響がありました。その結果、FTTH接続サービス及びモバイル接続サービスの申し込みが増加をしております。

FTTH接続サービスについては、テレワークで利用されているオンライン会議を安定した通信回線で利用したいというニーズが顕在化し、固定回線を新たに申し込む会員が増加しております。この結果、FTTH接続サービスの会員数は2020年6月末時点で417千ID(前年同期末比 21千ID増、5.2%増)となりました。

モバイル接続サービスについては、在宅勤務に必要なインターネット回線を法人が契約し従業員へ貸与する動きが多く見られました。今後、このような動きが一時的な取り組みか、継続的な動きになるかを注視しております。モバイル接続サービスの会員数は2020年6月末時点で45千ID(前年同期末比 4千ID増、10.5%増)となりました。

## (v6 コネクト)

当第1四半期は新たな電気通信事業者1社と提携を開始いたしました。新しく提携開始した電気通信事業者は集合住宅向け事業者となります。引き続き、新たな電気通信事業者への提案活動をおこなってまいります。

既に「v6 コネクト」の契約を締結している電気通信事業者においては、ISP「ASAHIネット」同様に通信量が増加したことにより売上が増加しております。また、前期に提供を開始した「v6 コネクト」のオプション「IPv4 over IPv6接続機能（DS-Lite方式）」の利用開始も売上増加に寄与をしております。

また、当事業年度第1四半期は今後も通信量が増加し続けることを見据えNTT東西との相互接続を追加契約しました。これにより通信費として売上原価が増加をしております。

## 教育支援サービスの状況

「manaba (マナバ)」契約IDの状況

(単位：千ID)

	2019年6月末	2020年6月末	増減	増減率(%)
契約ID数	662	720	58	8.8%
導入校数	90校	104校	14校	15.6%

教育支援サービス「manaba (マナバ)」の2020年6月末の契約ID数は前年同期末比58千ID増(8.8%増)の720千IDとなりました。全学導入校数は前年同期末比14校増(15.6%増)の104校となりました。

当事業年度第1四半期においては、新型コロナウイルス感染症への取り組みとして文部科学省が推奨するインターネットを活用した遠隔授業を実現するための手段として新たに7大学と契約締結しました。遠隔授業への取り組みは今後も継続的な課題であると捉え、大学が必要とするサービスの拡充を進めてまいります。

また、「manaba」の同時利用者の増加に対し安定的なサービスを継続できるよう当事業年度第1四半期にサーバー等の設備増強を行いました。サービスの利用状況を把握し、今後必要に応じた設備投資を計画しております。

## 収益の状況

2021年3月期 第1四半期の業績

(単位：百万円)

	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減	増減率(%)
売上高	2,534	2,777	242	9.6%
営業利益	394	406	11	3.0%
経常利益	430	460	30	7.0%
四半期純利益	294	301	6	2.3%

ISP「ASAHIネット」のFTTH接続サービス及びモバイル接続サービスの会員数増加、「v6 コネクト」の取り扱い通信量の増加、「manaba」の全学導入校数の増加により売上高は増加しております。

売上原価においては、FTTH接続サービス及びモバイル接続サービスの会員拡大に伴う回線仕入ならびに通信量の増加により通信仕入が増加しております。販売費及び一般管理費においては、主に会員数増加による販売促進費及び会員獲得における業務委託費が増加しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,777百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益は406百万円(同3.0%増)、経常利益は460百万円(同7.0%増)、四半期純利益は301百万円(同2.3%増)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

## (資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産合計は8,348百万円(前事業年度末比264百万円増)となりました。また、固定資産合計は3,460百万円(同449百万円増)となりました。

以上の結果、当第1四半期会計期間末の資産合計は11,808百万円(同713百万円増)となりました。

## (負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債合計は1,682百万円(同293百万円増)となりました。

以上の結果、当第1四半期会計期間末の負債合計は1,710百万円(同320百万円増)となりました。

## (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は10,098百万円(同393百万円増)となりました。

以上の結果、自己資本比率は85.5%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年5月11日に公表した業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,506	5,999
売掛金	1,760	1,776
有価証券	3,400	—
貯蔵品	296	309
その他	142	279
貸倒引当金	△21	△16
流動資産合計	8,084	8,348
固定資産		
有形固定資産	1,378	1,455
無形固定資産	479	501
投資その他の資産	1,153	1,503
固定資産合計	3,010	3,460
資産合計	11,094	11,808
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	568	560
未払金	434	614
未払法人税等	294	130
その他	92	376
流動負債合計	1,388	1,682
固定負債	1	28
負債合計	1,390	1,710
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	630	630
資本剰余金	794	794
利益剰余金	10,178	10,215
自己株式	△2,075	△2,075
株主資本合計	9,528	9,565
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	176	532
評価・換算差額等合計	176	532
純資産合計	9,704	10,098
負債純資産合計	11,094	11,808

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,534	2,777
売上原価	1,698	1,860
売上総利益	836	917
販売費及び一般管理費	441	511
営業利益	394	406
営業外収益		
受取配当金	35	53
不動産賃貸料	1	1
その他	0	0
営業外収益合計	37	54
営業外費用		
自己株式取得費用	1	—
不動産賃貸費用	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	430	460
特別損失		
固定資産除却損	4	—
投資有価証券評価損	—	29
特別損失合計	4	29
税引前四半期純利益	425	431
法人税等	131	129
四半期純利益	294	301

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。